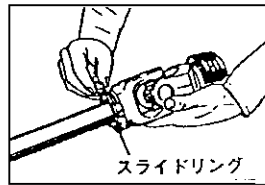


- ④スライドリングを取り外してください。

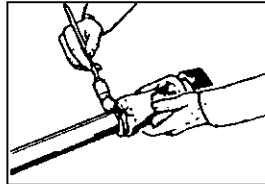


▲ 注意

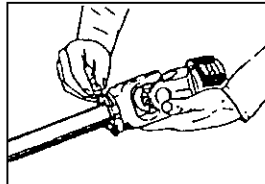
- パワージョイントを接続したとき、クランプピンが軸の溝に納まっていないと、使用中に外れ、ケガをする事があります。溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめて行ってください。

(2) 安全カバーの組立手順

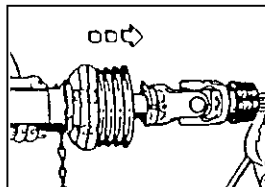
- ①ヨークのスライドリング溝とパイプ（インナ）にグリスを塗ってください。



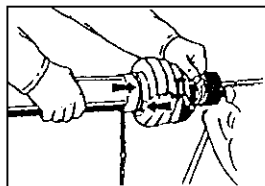
- ②スライドリングのつばをパイプ側に向け、切り口を開いて溝にはめてください。



- ③その上に安全カバーをはめてください。



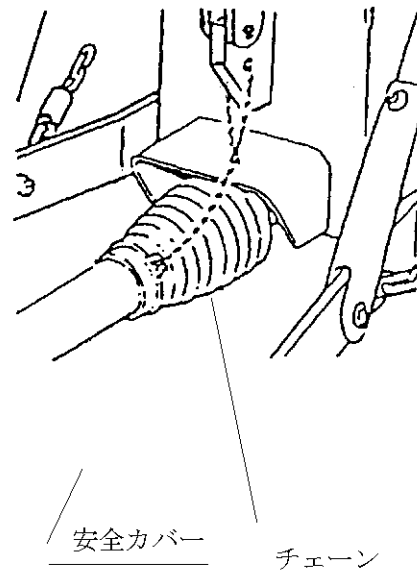
- ④カバーをしっかり止まるまでまわしてください。



- ⑤固定ネジを締め付けてください。

- (2) 安全カバーのチェーンを回転しない所に取り付け、カバーの回転を防いでください。

チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引掛かりなどが無いように余分なたるみを取ってください。



4. パワージョイントの連結

- (1) ピン付ヨークのクランプピンを押して、P I C軸、P T O軸に連結し、クランプピンがもとの位置になるまで押し込んでください。

2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

(1) 3点リンクの連結部点検

- ① ローリンクピン・トップリンクピンのリンチピン・ベータピンは、確実に挿入されているか。
- ② チェックチェーンは張られているか。
- ③ 不具合が見つかった時は、「1-4-1 トラクタへの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

(2) パワージョイントの点検

- ① ピンツキヨークの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取り付けに余分なたるみはないか。また、適度な余裕があるか。
- ③ ジョイントカバーに損傷はないか。
損傷している時は、速やかに交換してください。
- ④ 不具合が見つかった時は、「1-5 パワージョイントの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

3. 製品本体の点検

(1) タイン取付ボルトに緩みはないか。

不具合が見つかった時は増し締めしてください。

(2) メインフレーム・サブフレーム取付ボルトに緩みはないか。

不具合が見つかった時は増し締めしてください。

(3) 各部の給油は十分か。

不具合が見つかった時は、「2-3 給油箇所一覧表」の説明に基づき給油してください。

(4) タイヤの空気圧は十分か。

(315KPa : 3.2kg/cm²)

2 エンジン始動での点検

▲注意

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。PTOを切ってから始動してください。

1. トラクタ油圧系統に以上はないか。

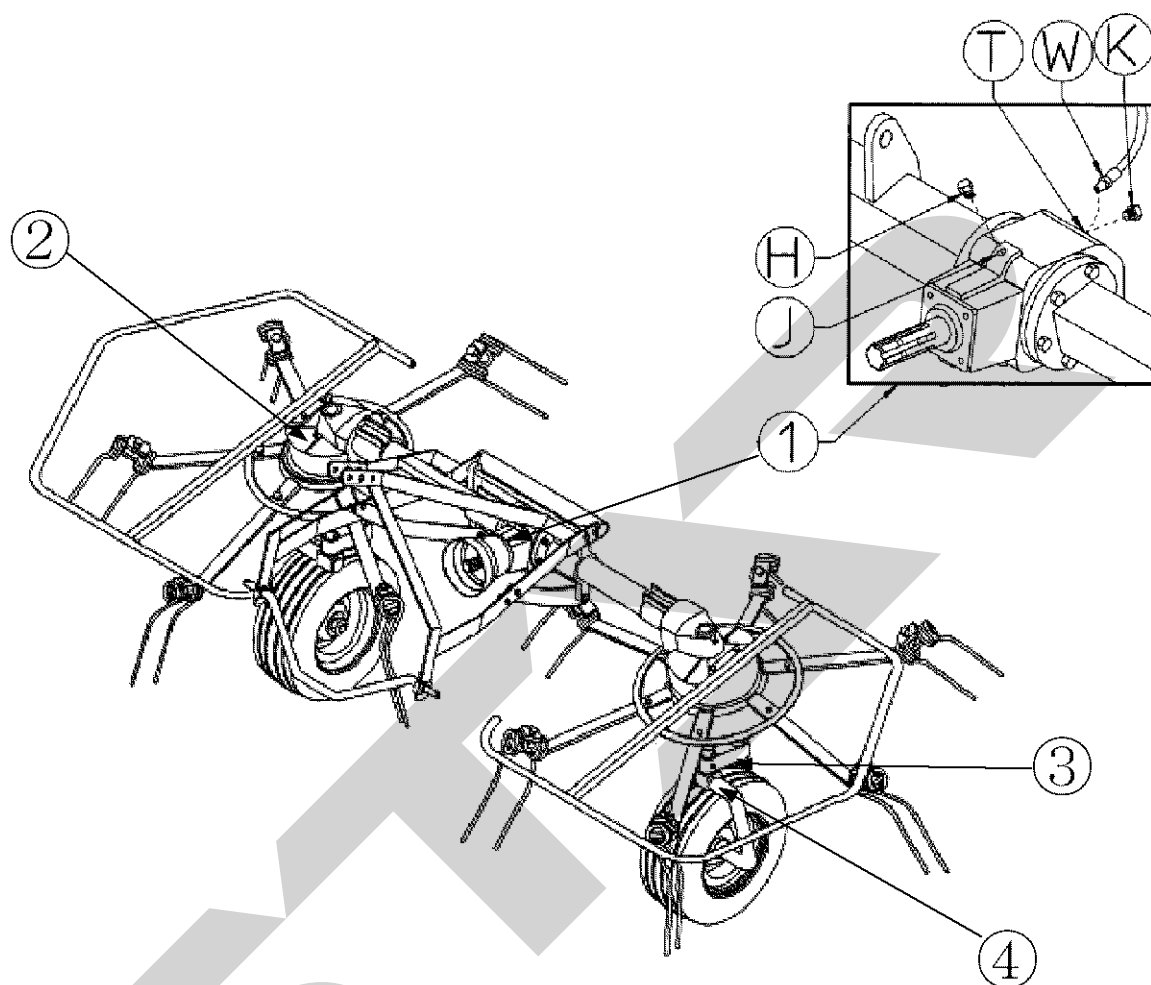
トラクタ油圧を操作し、3点リンクを上昇し、作業機を持ち上げた状態で、降下がなければ異常ありません。

トラクタ油圧系統などに異常があるときは、トラクタ販売店にご相談ください。

3 給油個所一覧表

○給油する潤滑油は清浄なものを使用してください。

○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	給油量	備考
1	メインギヤボックス	1	グリース；0号	1シーズンまたは100時間		注記参照
2	ロータ	2	グリース；2号	50時間毎	適量	グリースニップル
3	ロータハブ	2	〃	30時間毎	適量	グリースニップル
4	ホイールシャフト	2	〃	30時間毎	適量	グリースニップル
5	パワージョイント		〃	使用毎	適量	グリースニップル パイプスライド部に塗布

注記 メインギヤボックス内のグリースは工場出荷時に充填されています。キャップ⑧を外して定期的にグリースの量とその状態を確認し、必要であれば穴⑨から補充してください。なお、ギヤボックスを交換、あるいは内部の部品を交換した際にのみ、ギヤボックス内のグリースを全量交換する必要があります。交換は⑧および⑩のキャップをはずし、グリースポンプ⑪を用いて穴①からグリースを注入し、穴①からグリースが出てくるまで注入します。

3 作業の仕方

1 本機の使用目的

1. 本製品は、ほ場においての牧草、稲ワラ、麦かんの拡散・反転作業に使用しています。他の用途には使用しないでください。
2. 雨上がり直後のほ場、ぬかるみのあるほ場、湿気の高いほ場では作業を行わないでください。ほ場が良く乾いてから作業を行ってください。

2 作業の種類

1. 刈取列の拡散作業
ディスクモア等による刈取列を拡散し、牧草の茎を折って、乾燥を促進させます。
2. 反転作業
拡散された牧草を、乾燥状態により一日に数回反転し、乾燥を促進させます。
3. 集草列の拡散作業
ジャイロレーキ等で作られた集草列を、再び拡散して、乾燥を促進させます。

3 作業のための調整

1. タイン地上高の調整
タインの地上高は、トップリンクでタインが地面から 10~20mm になるように調整します。
2. 作業速度と P T O 回転速度
作業の種類・牧草の水分・収量に応じ、P T O の回転速度を変えて作業します。下におよその目安を示しますので、状況に応じ調整しながら作業を行なってください。

牧草の状態	作業速度	PTO 回転速度
水分が多い 草丈が長く重い	6~8km/hr	450~540rpm
水分が少ない 収量が少ない	8~10km/hr	350~500rpm

4 作業要領

▲危険

- 作業中または回転中、ロータに接触すると巻き込まれ、ケガをすることがあります。周囲に人を近づけないでください。

▲警告

- 運転中または回転中、タインにより石などが飛散し、ケガをすることがあります。周囲に人を近づけないでください。
- 作業をする時、周囲に人を近づけると機械に巻き込まれケガをすることがあります。周囲に人を近づけないでください。
- 作業指定の P T O 回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをすることがあります。指定回転速度を守ってください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。低速で作業してください。下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりにしてください。

1. 刈取列の拡散は、乾燥促進のため、刈取後できるだけ早く拡散作業を行なってください。
2. 拡散作業は、できるだけトラクタが刈取列・集草列をまたいだ状態で行なってください。
3. 水分が少ない牧草や、収量が少ない場合の拡散作業、反転作業では乾燥が進んだら、P T O 回転速度を下げてください。
4. 夜間は大気中の湿度が高くなります。乾燥途中の牧草は夜間に湿気を含み、含水率が高くなる事があります。夜間の湿気から牧草を少しでも守るため、夕方にはジャイロレーキ等で集草列を作ってください。急な降雨があっても雨からの濡れを最小限でとどめる事ができます。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをすることがあります。
PTOを切り、エンジンを止め、回転部や可動部が止まっていることを確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に回転部に巻きついた草は、シール部品・軸受部品等を傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト・ナット・ピン類の緩み、脱落がないか、又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
3. タインは消耗品です。早めに予備品を準備してください。
4. PTO軸・PIC軸・ジョイントスプライン部など、塗装されていない露出部は、錆を防ぐためグリースを塗布してください。

2 長期格納するとき

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 磨耗した部品、破損した部品は交換してください。
3. 給油個所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、PIC軸、パワージョイントのスプライン、スライド部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。
6. やむをえず屋外に保管する時は、シートをかけてください。

5 点検と整備について

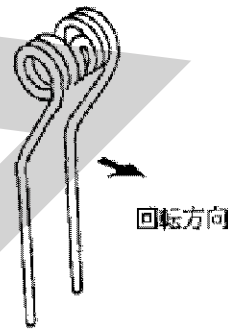
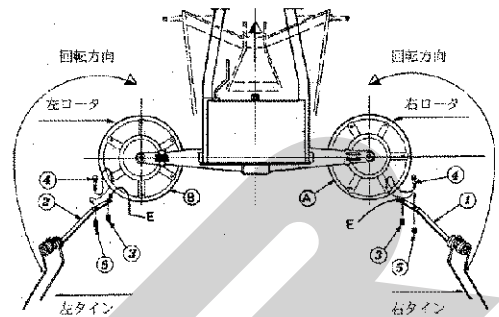
調子よく作業するために定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業ができるようにしてください。

タイヤは消耗部品となっています。磨耗、または折損したときは交換してください。

▲注意

- 3点リンクで本機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンを止めずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンを止め、回転部や可動部が止まっていることを確かめて行ってください。



1 点検整備一覧表

時間	点検項目	処置
新品使用 1 時間	全ボルト・ナットの緩み	増し締め
作業前 作業後	①機械の清掃 ②タイヤ磨耗・折損 ③タイヤ空気圧 ④各部のボルト・ナット・ピン類の緩み、脱落 ⑤駆動系の異常音、異常振動 ⑥パワージョイント、カバー、チェーン破損 ⑦回転部、可動部の給油、注油、給脂	交換 310KPa (3.2kg/cm ²) 増締め、部品補給 「6 不調時の対応」に基づき処置 交換
シーズン終了後	①破損部 ②タイヤなどの消耗品 ③各部の清掃 ④塗装損傷部 ⑤回動支点、ピン等の磨耗	補修 早めの部品交換 塗装または油塗布 部品交換

6 不調時の対応

万一、機械の調子が悪い場合は、不調処置一覧表により処置をしてください。

▲注意

- 3点リンクで作業機を持ち上げて点検・調整を行うとき、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。

- PTOおよびエンジンを止めずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンを止め、回転部や可動部が止まっていることを確かめて行ってください。

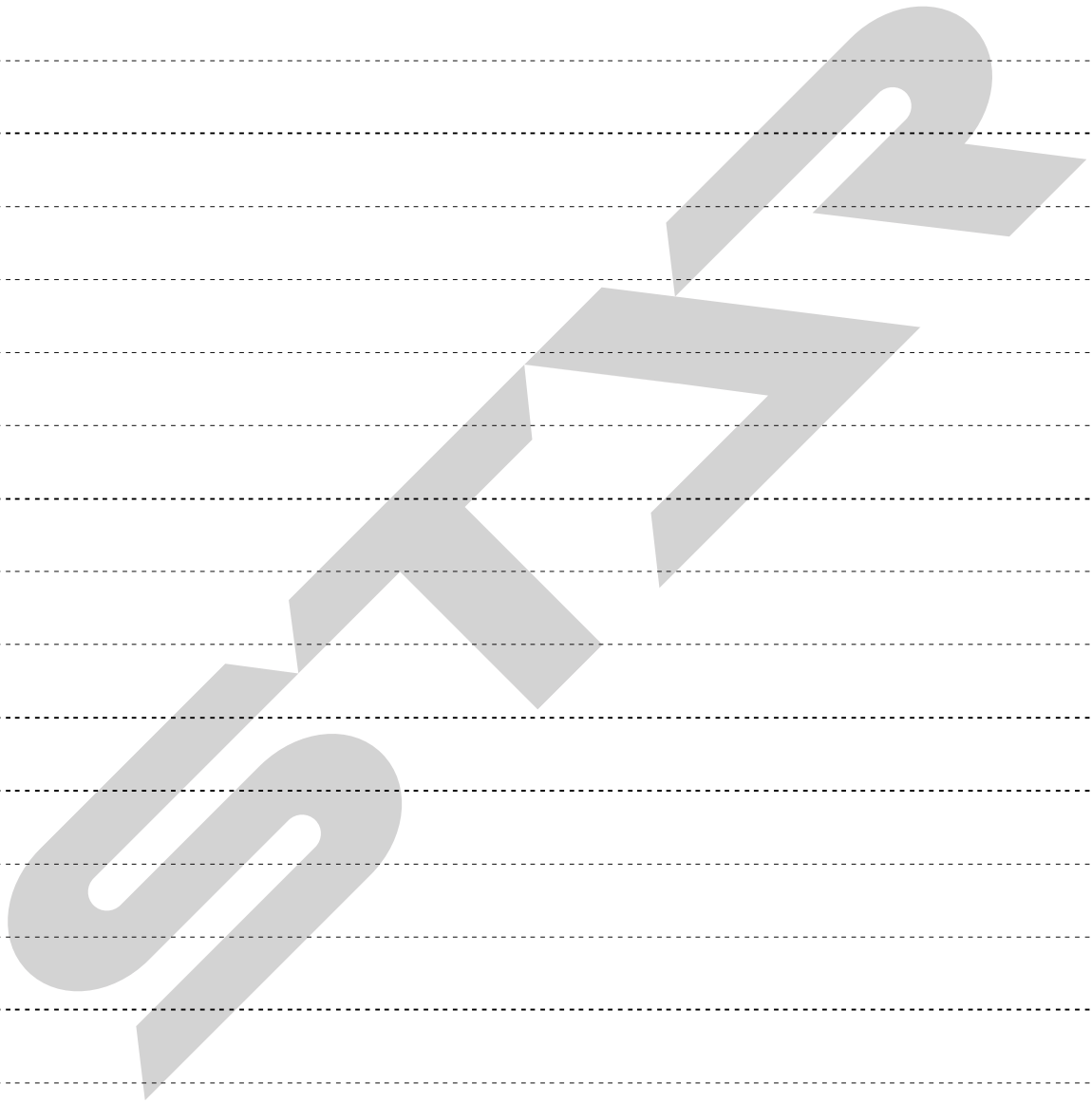
1 不調対応一覧表

	症状	原因	処置
ロータ部	・異常音の発生	<ul style="list-style-type: none"> ・ロータギヤケース内のグリース不足 ・タイン取付ボルトのゆるみ ・タインの折損 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリース補充 ・増締め ・タイン交換
	・牧草を拾い残す	<ul style="list-style-type: none"> ・作業姿勢が適正でない ・車速が早い ・タインの折損 	<ul style="list-style-type: none"> ・「3-3 各部の調整」を参考に調整する ・車速を下げる ・タイン交換
	・牧草が巻き付く	<ul style="list-style-type: none"> ・車速が早い 	<ul style="list-style-type: none"> ・車速を下げる
ジョイント	・トリックリミッタが作動	<ul style="list-style-type: none"> ・牧草の処理量が多すぎる ・PTOの高速始動 	<ul style="list-style-type: none"> ・車速を下げる ・低速回転で始動する
	・異常音の発生	<ul style="list-style-type: none"> ・グリース切れ ・角度のつき過ぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプ(イナ・アウ)摺動部・スパイダ・安全カバー取付部に給脂 ・3点リンクに持ち上げ高さを規制する

原因や処置のしかたがわからない場合は下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 製造番号
3. 故障内容(できるだけ詳しく)

MEMO



START

本社 066-8555 千歳市上長都 1061番地2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都 1061番地2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊富営業所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ 1191番地44
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西22条北1丁目12番地4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町2丁目16番2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花巻営業所 028-3172 岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第11地割120番3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙台営業所 983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野字神明179-1
TEL 022-388-8673
FAX 022-388-8735

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁2512-1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市北区下中野704-103
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

犬山出張所 484-0894 愛知県犬山市羽黒字合戦橋5番1
TEL 0568-69-1200
FAX 0568-69-1210

熊本営業所 861-8030 熊本県熊本市東区小山町1639-1
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都城営業所 885-1202 宮崎県都城市高城町穂満坊1003-2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233